

令和5年度有明・山鹿地域事業部 合同研修会 Web 研修開催(報告)

主催 (公社) 熊本県栄養士会 有明・山鹿地域事業部

日時 令和5年9月29日(土) 14:00~16:30

会場名 ZOOMによるオンライン開催

◇『 地域包括ケアシステムの理解と地域ケア会議参画に必要な基礎知識

～専門職の役割～ 』

講師 : 山鹿市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 木下 晴美 先生

ZOOMによるオンラインでの開催となりました。会員31名(有明17、山鹿8、その他6)、会員外1名、計31名の参加となりました。

木下晴美先生は、歯科衛生士の資格をお持ちで歯科医院、菊池市役所に勤務された後、現在は山鹿市地域包括支援センターに主任介護支援専門員として勤務されておられます。

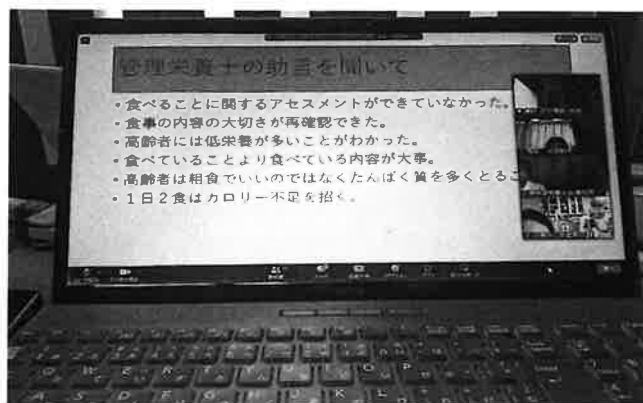
今回、歯科衛生士の専門的な立場、主任ケアマネージャーで事例提出者としての立場、地域ケア会議の司会者としての立場から思うことを話されました。

山鹿市の高齢化率は38.7%で、今後も高齢者人口の増加が見込まれています。軽度認定者も増加傾向であり、その方々の課題について、多職種が専門的な立場から実践可能な助言を行い改善することで、自宅で生き生きと自分らしい生活ができ、介護予防につながるということです。そして事例をこなしていく中で、その地域に見えてくる課題の傾向を理解し検討していくことが重要ということでした。

実際の事例で、専門職の質問と助言を載せてありました。歯科衛生士の助言から、義歯は食事をしっかりかんで食べられるようにという以外に、転倒のリスクを予防したり、口腔内の乾燥を防ぐという利点があるとのこと。多職種の助言で新しく見えてくるものがあることを再確認しました。

有明地域ではまだ地域ケア会議は始まったばかりで、多くの栄養士にはなじみのないものですが、今回講義をいただき地域ケア会議についての理解が深まりました。

木下先生、本日は貴重な講演を誠にありがとうございました。



オンラインでの受講